

第4回フードドライブにご協力いただき、 ありがとうございます！



倉庫の棚には、フードドライブでいただいた食品がぎっしり。また今回はお米の寄贈も多くあり、米袋を運ぶのが大変で、嬉しい悲鳴をあげています。

5月20日から6月28日まで、第4回フードドライブを行いました。新しく、八街市、成田市、習志野市、白井市の社会福祉協議会などに受取窓口を開設いただきました。ランチミーティングの参加者等においてポストの枚数や地域も増やし、のべ26名の方にお手伝いいただきました。また、読売新聞(5/23)、東京新聞(5/22)、朝日新聞(6/6)の各地方版でも取り上げていただき、パルシステム千葉の組合員へのニュースにも案内をしていただきました。その結果、これまでで一番多い**1.4トン**の食品をご寄贈いただくことが出来ました。本当にありがとうございました。次回は9月17日から10月31日までを予定しています。



受け取り窓口の様子

ご寄付のお願い

フードバンクちばの活動は、みなさまのご寄付や協賛金で成り立っています。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

● 郵便振替口座

口座名義：**フードバンクちば** 口座番号：**00150-2-652117**

● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 種別：当座 支店名：〇一九店 口座番号：652117 口座名義：フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00~17:00 ☎ **043-242-8900**

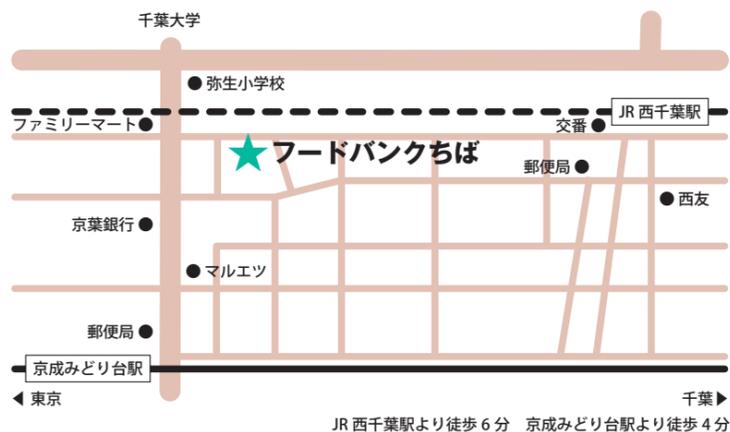
※スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話ください。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ **fbchiba@jigyoudan.com**

💻 **http://foodbank-chiba.com** ブログ：**fbchiba.ko-me.com**



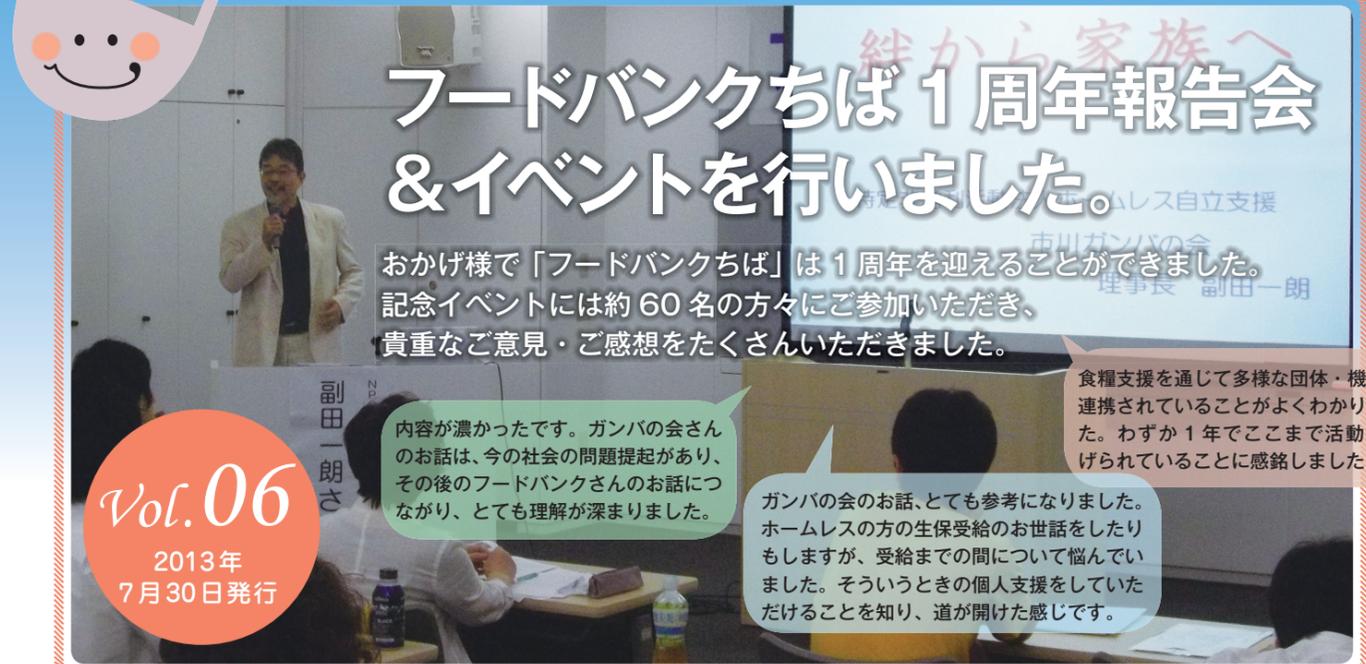
チャリティ用の缶バッジを作りました。ぜひご協力お願いします。



フードバンクちば ワークスコープちば 企業組合労働協働事業団 サポートセンターオアシス内
〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101

フードバンクちばは通信

フードバンクちば(企業組合労働協働事業団:サポートセンター「オアシス」内)〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101



フードバンクちば1周年報告会 & イベントを行いました。

おかげ様で「フードバンクちば」は1周年を迎えることができました。記念イベントには約60名の方々にご参加いただき、貴重なご意見・ご感想をたくさんいただきました。

Vol.06

2013年
7月30日発行

内容が濃かったです。ガンバの会さんのお話は、今の社会の問題提起があり、その後のフードバンクさんのお話につながり、とても理解が深まりました。

ガンバの会のお話、とても参考になりました。ホームレスの方の生保受給のお話をしたりもしますが、受給までの間について悩んでいたことを知り、道が開けた感じがします。

食糧支援を通じて多様な団体・機関が連携されていることがよくわかりました。わずか1年でここまで活動を広げられていることに感銘しました。

CONTENTS

- 6月25日千葉市稲毛区保健福祉センター大会議室にて1周年報告会&イベント開催しました。
- フードバンクちばの支援状況をお知らせします。
- 他団体を訪問したり、いろいろなイベントやシンポジウムに参加しました。
- 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。

第4回フードドライブにご協力いただき、ありがとうございました！

現在までの支援状況

2012年5月～2013年6月までに提供した食品

<団体> 9.2t

<個人> 3.1t

内訳：お米・調味料・パスタ・そうめん・缶詰・ジャム・菓子・飲料など

6月25日千葉市稲毛区保健福祉センター大会議室にて開催しました。

1周年を迎え、さまざまな期待や課題に向き合っていかなければならないことを再認識しました。

記念講演は「NPO ホームレス自立支援市川ガンバの会」の副田理事長より、「絆から家族へ」。市川ガンバの会は市川市で16年前から活動を開始。以来、路上生活をする人たちの巡回相談を続け、アパートへの入居や生活保護の受給などを支援してきました。これまでに約350人のアパート入居を支援しています。しかしホームレスの問題は、物質的な支援だけでなく、孤立化させないことが必要と強調され、ガンバの会では入居後の生活支援も継続して行っています。服薬管理や金銭管理、サロンの運営、互助会での葬儀、お墓の設立など、その取り組みは多岐に渡っています。フードバンクちばでは、市川ガンバの会にも食品を提供しており、今年スタッフ研修として訪問もさせていただきました。誰もが排除されない「新しい街」づくりに一緒に取り組んでいきたいと思っています。

続いて、事務局で用意した「フードバンク Quiz」でフードバンクとそれを取り巻く状況を共有した後、フードバンクちばとして1年間の活動報告を行いました。昨年5月に活動を開始して以来、多くの人の協力で食品の寄贈が増え、提供先や連携する支援団体もどんどん広がっており、フードバンクのニーズが高いことを実感しています。一方で、財政面をどうしていくか、またフードバンクを活用したランチミーティング等のコミュニティづくりの取り組みをどのように広げていくか、を参加者の皆さんにも考えていただきました。また、ご参加いただいた方の中から、社会福祉協議会、ホームレス支援団体、生活協同組合、労働組合などの方々から、フードバンクちばへのご意見をいただきました。多くの方に支えられて、活動していることを実感できる会となりました。お土産にサンプルとして企業からご寄贈いただいた食品をお持ち帰りいただきました。

フードバンクちばの支援状況をお知らせします。

個人支援のネットワークが広がっています。様々な機関や団体と連携しながら、「フードバンクちば」は食品の支援という形でサポートしていきます。

① 団体支援

フードバンク食品を提供している先として、福祉施設・団体等があります。現在フードバンクちばで継続的に食品を提供しているのは、ホームレス支援団体(3)、障がい者関連団体(7)、高齢者施設(2)、母子支援施設(1)、児童養護施設(1)、児童自立支援施設(1)、薬物依存回復団体(1)、住宅支援団体(2)、フリースクール(1)などです。お米、調味料、飲料、菓子などを中心に提供させていただいています。



食品支援を受けた年代 (2012年6月～2013年6月)

② 個人支援

困窮している個人(世帯)への食品提供は、主に公的・民間の相談支援機関の窓口等を通じて申請をいただいています。これまで、フードバンクちばと連携してきた相談支援機関は、右記の通りです。

社会福祉協議会	中核地域生活支援センター
千葉市社会福祉協議会	中核地域生活支援センター 長生ひなた
印西市社会福祉協議会	いんば中核地域生活支援センター すけっと
佐倉市社会福祉協議会	中核地域生活支援センター がじゅまる
習志野市社会福祉協議会	中核地域生活支援センター さんぶエリアネット
八街市社会福祉協議会	中核地域生活支援センター 夷隅ひなた
八千代市社会福祉協議会	中核地域生活支援センター いちはら福祉ネット
成田市社会福祉協議会	柏地域生活支援センター あいネット
東金市社会福祉協議会	船橋市「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる
自治体	千葉市あんしんケアセンター
千葉市健全育成課	シャローム若葉あんしんケアセンター
佐倉市社会福祉課	千葉市相談支援事業
成田市社会福祉課	地域生活支援センターふるら
印西市社会福祉課	ディアフレンズ美浜
八千代市生活支援課	その他支援 団体・機関
	よりそいホットライン千葉センター
	ちばライフサポートセンター
	弁護士・民生委員 他



個人支援の月当たり利用件数 (2012年6月～2013年6月のべ330件 506人)

連携相談支援機関

社会福祉協議会より(4月)

夫のDVで別居。現在妊娠中で当面働けない。持ち家だがローンあり。自宅で開業の予定のため処分できず、生活保護も申請できない。離婚協議も時間がかかり、養育費・慰謝料を受け取るには時間がかかる。

30代母親
10代未満
子供2人

市福祉課より(4月)

求職中の単身者。昨年より住宅支援給付を受け生活してきたが、今月で最後となる。2か月前までは母から仕送り5万円/月を受けていたが、母の体調悪化により断った。来月までに仕事が決まらなければ、生活保護申請へ。

40代
男性

市福祉課より(5月)

昨日生活保護申請を行った。前月まで3ヶ月間、骨折等のため入院しており、その期間の水光熱費が未払いのためライフラインはすべて停止している。社協で緊急小口資金を借りて支払ったが、食費が捻出できない。

50代
男性

本人より(5月)

夫がリストラにより失業。妻はパート就業。息子2人は大学生と高校生。妻のパート収入が3日後だが、現在食べる物が全然ない。自己破産の手続きで弁護士に相談し、フードバンクを知る。生活保護申請も考えたが、子どもの奨学金やアルバイト収入やパート収入で不可。

50代夫婦
20・10代
子供

同じアパートの住人より(5月)

昨年病気で入院。家族はいない。退院し今月から生活保護を受給するが家賃を除くと約6万円の保護費で生活が難しい。同じアパートの住人が新聞記事を見てフードバンクに連絡、支援依頼。中核地域生活支援センターにつなぐ。

70代
男性

障がい者相談支援事業所より(6月)

知的障害あり。独居生活をしているが、金銭管理にやや問題がある。3日後に手当がおろるが、今月は臨時の出費があり残高がほとんどない状況。

30代
男性

他団体を訪問したり、いろいろなイベントやシンポジウムに参加しました。

ふうどばんく東北AGAIN(あがいん)を訪問しました。

6月14日、仙台市にある「ふうどばんく東北 AGAIN」を見学させていただきました。ふうどばんく東北 AGAIN さんには、昨年3月にフードバンクちばの準備のための研修で訪問しており、事務局長の高橋さんには大変お世話になっています。震災時の被災者支援により活動が大きく拡大していた AGAIN さんですが、現在は被災地支援の規模はかなり縮小しており、パーソナルサポートセンターなどと連携して、仙台市を中心とした地元の困窮者支援に力を入れているそうです。お邪魔した日は、朝から地元の障がい者団体の方が3名(うち1名はスタッフ)が来て、就労支援事業としてフードバンク食品の仕分けや積み込み作業を行っていました。また、AGAIN では iPad を使用したフードバンクの在庫管理のための POS システムを開発しており、実際に使って見せていただきました。



フードバンク活動での就労支援も見学させていただきました。袋詰めした食品を積み込む作業です。

日韓フードバンクフォーラム

5月15日、セカンドハーベスト・ジャパン主催の「日韓フードバンクフォーラム」が開催され、フードバンクちばから2名が参加しました。97～98年のIMF危機以降、韓国では国(保健福祉部)の政策として、国・広域自治体・基礎自治体に425ヶ所のフードバンクが設立されました。一方で、同時期に国とは別に民間のフードバンクとして設立された聖公会フードバンクは、食材だけでなく弁当やバス巡回給食のように加工しての提供も行っている他、1週間分のパッケージ支援も行っています。国がフードバンク運営団体を指定することにこだわったため、聖公会は独自にフードバンクを立ち上げました。日本に比べ、急速に発展した韓国のフードバンクですが、韓国では福祉制度が充実していない中で企業の資源を活用することを強調してしまっているため、福祉予算が増えない他、市民への募金の呼びかけもなかなか出来ない状況だと言います。また、利用対象者についても、収入によって厳しい制限をしているため、急に状況が変わって困窮してもすぐには利用できないなどの問題があるそうです。



聖公会フードバンク代表の金ハンスン神父は、欧米発祥のフードバンクを韓国の分かち合い文化の中でどのように適応させていくか、ということや、新自由主義経済の中でのフードバンクの社会的文化的意義について検討されており、非常に共感できるものでした。また、金神父の「ソウル駅のホームレスに人文学講座をやっており、その講座を聞いた人は、炊き出しに並ばず、働く事を求めるようになる。人を助けることと、その人の自尊心を傷つけないこと、がどうということなのか考え続けている。」という言葉が印象に残りました。

フードバンクの社会的文化的意義について発言する金ハンスン神父

千葉食品コンビナート協議会の総会に参加しました。

5月22日(水)午前、千葉食品コンビナート協議会の総会に出席し、フードバンクについての説明をさせていただきました。この間千葉県共同募金会と一緒に相談させていただいている千葉県経営者協会からのご紹介です。総会後に山崎製パン千葉工場の方に声をかけていただき、パンの提供についてご相談させていただきました。

企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。

アサヒ飲料(株)様より十六茶(600ml)24本×42箱、バヤリース(190ml)30本×220箱をいただきました。また、ヤマサ醤油(株)様より醤油(1.8ℓ)6本×24箱、つゆドレ108箱をいただきました。

NPO パワーオブジャパン様より、沖縄で有名な缶詰「メイフェア」(牛肉と野菜の煮込み 454g)24個入りを約100箱いただきました。

